事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和３年１１月１７日（１７：００～１８：００）
１．　初期支援（はじめのかかわり）	メンバー	中島・畑村・岡本・国徳・道森・平田・福島・木下・中川・高津

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	5人	8人	6人	19人

前回の改善計画

・ 利用者の方が入ってくるまでの手順は、昨年の改善計画でも挙げたが、達成出来ているとはいえない。
　再度、事前面談への介護職の参加、担当者決め、情報共有が出来ているかのチェックを行っていく。
・ 新規利用者の方が利用始めて、一週間ぐらいの頃に、臨時ミーティングを開催し、情報収集、共有を図る。
　勤務の関係上、少人数しか集められないとは思うが、先ずは行ってみることとする。

前回の改善計画に対する取組み結果

・事前面談への介護職の参加は難しかった。人員の余裕が無い為、面談の日程がわかっていたとしても、人員の調整が出来ない。担当者は、事前に決めておくことは出来ている。利用開始してからの情報収集は、みんなが意識してくれている。初日の情報は、当日のリーダーを中心にして、的確にまとめている。
・臨時ミーティングも出来なかった。通常業務に、プラスαで何かを行う事が難しい一年であった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？		5人	11人	3人	19人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？		14人	5人		19人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか？	1人	16人	2人		19人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？		14人	5人		19人

できている点　200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・ミーティング時に、ＣＭからの事前の情報伝達は出来ている。
・利用開始の初日の情報収集は、しっかりと出来ており、専用の書式に記入している。
・馴染んでもらう為の声掛けは、意識して行えている。
・利用開始後、レクリエーションや入浴時等を利用し、情報を集めている。
・家族へは、些細な事も報告するようにしている。

できていない点　200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

・利用開始前の情報は、伝わってくるが、意外と違っている場合が多い。実際に来てみないと分からない事が
　多く、事前の準備がしづらい。
・ミーティング以外の集まりの場が持てない。業務中に行う余裕がない為、難しい。
・一人一人と向き合う時間が取りづらい。現状の人員数では余裕がなさすぎる。
・家族とも会う回数が少なく、関係作りが難しい。勤務時間も違うし、業務の役目が違えば勤務場所も一定しない。
　頻繁に来られる家族の方でも、一人一人の職員は会う間隔が開いたりして、密な関係になっていかない。

次回までの具体的な改善計画　（200字以内）

・事前の情報収集に力を入れたいが、来期もマンパワー不足が続くと思われるので、利用開始してからの情報収集
　の充実に力を入れる事にする。情報記入の専用の書式があるので、上手く活用し、情報の収集と共有を行っていく。
・利用者の担当者は、開始前には決まっているので、担当者が中心となって、管理者、ＣＭの協力の元、集まった
　情報をまとめ、記載を行い、その情報を伝えていく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和３年１１月１７日（１７：００～１８：００）
２．　「～したい」の実現 （自己実現の尊重）	メンバー	中島・畑村・岡本・国徳・道森・平田・福島・木下・中川・高津

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	5人	10人	4人	19人

前回の改善計画

・ 気づきノートを活用する為に、このノートに関しての、記入法、運用法に権限を持つ担当者を決めた。その職員を中心に、うまくノートの活用を軌道に乗せていく。
・ 業務の空き時間を、作り出し、記録を書く時間にしたいが、人間相手の仕事なので、計画通りにまとまった時間が作れるとは思えず。職員が協力し合い、少しづつでも記録に残せる量を増やしていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

・気づきノートは、書式を変えて、以前よりわかりやすくなった。記入状況は、利用者の担当者により、バラつきがある。この点は、今後、改善していく。
・利用者の方と関り、いろいろな情報が取れているのに、上手くまとめれていない。ケア記録には、以前より情報を残せるようになったが、まだまだ記録し切れていない。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？		2人	10人	7人	19人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？		5人	6人	8人	19人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？		1人	10人	8人	19人
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かせていますか？		5人	8人	6人	19人

できている点　200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・利用者の方との会話の中で、要望は聞き出せている
・レクリエーション中に、利用者の方の趣味、嗜好、生い立ちなどを聞き出そうと努力している。
・入浴中は、一対一になれ、時間も取れるので、色々な情報を聞き出せている。記録にも残しやすい。
・気づきノートは、昨年度よりも記入が増えてきた。
・職員の休憩中などに、利用者の方の話題が出て、情報交換は出来ている。

できていない点　200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

・レクリエーション中や会話で得た情報を、記録に残すことがやり切れていない。
・ミーティング時に、利用者の方との関りで得た情報を発信し切れていない。
・カンファレンスは行っているが、一人一人の利用者の方の頻度は少ない。
・記録する時点で、本人の発言を、そのままだと長いので、要約して記入するが、本来の意味と違ってきてしまう場合がある。

次回までの具体的な改善計画　（200字以内）

・気づきノートは、書式を変えて、生い立ち、趣味、嗜好などが分かりやすい形式になっている。記入を進めていけば、利用者の方との関りに、有益な情報となる。まとまった記入時間が取れないので、メモ書き程度の物を付箋に記入し、貼っておくようしていく。後に（半年ごと）、それをまとめ記入する様にする。
　レクリエーション中に、利用者本人に、記入してもらう事も行っていくようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和３年１１月１７日（１７：００～１８：００）
３．　日常生活の支援	メンバー	中島・畑村・岡本・国徳・道森・平田・福島・木下・中川・高津

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	7人	11人	1人	19人

前回の改善計画

・ 気付きノートの活用を図る。前項目でも記入したが、担当者を決め、権限を与えて、記入法の改善、職員への記入要請を行ってもらい改善していく。
・ 伝達の漏れはなくしていく。確実に、連絡ノートには記入し共有できるようにする。間違ったニュアンスで伝達されないように、言葉での補足も可能な限り行っていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

・気づきノートに関しては、前項でも触れているが、まだまだ改善の余地がある。
・情報伝達に関しては、相変わらず、上手くいかない。連絡ノートへの記入はしっかりと出来ているが、過去の事柄についての覚え間違い、忘れてしまう等がある。普通のノートであるので、検索も出来ない。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？		2人	12人	5人	19人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	1人	16人	2人		19人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？		6人	13人		19人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	1人	20人			21人
⑤	共有された本人の気持ちや対象の変化に即時的に支援できていますか？	1人	13人	5人		19人

できている点　200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・体調の変化は、確認出来ている。必要に応じて、医療への連携も出来ている。
・気づきノートを活用して、以前の暮らし、生い立ちなどを把握していっている。
・食事は、必要に応じて、刻み食、ミキサー食、お粥対応、トロミ剤の使用などを行っている。
・入浴、排泄も、利用者の方の状態の変化に応じて、対応している。

できていない点　200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

・介助方法、医療的な処置に変化があった場合に、うまく伝達出来なくて、以前のやり方で行ってしまう事があった。
・連絡、伝達に職員の主観が入っている場合がある。
・気づきノートはもっと活用すべき。
・問題のある利用者に目が行きがち。自ら発信しない利用者の方は、話題に上がりづらい。
・トイレの要望で、建物の構造上、すぐに対応出来ない場合がある。

次回までの具体的な改善計画　（200字以内）

・情報伝達には、連絡ノートへの記入が、一番確実だとは思う。時間が経ってからの確認は、検索が出来ないので、時間が掛かるのが難点である。職員が、行う業務については、次週分までは出ているので、各職員が予習を行い、当日に慌てなくて済むようにしていく。
・新規利用の方や、問題の多い方に意識が行きがち。目立たない利用者の方でも、小さな変化を見落とさない様に、担当者を中心に関わっていく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和３年１１月１７日（１７：００～１８：００）
４．　地域での暮らしの支援	メンバー	中島・畑村・岡本・国徳・道森・平田・福島・木下・中川・高津

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	3人	15人	1人	19人

前回の改善計画

・ 情報を、レクリエーション、入浴、ヘルパー時に集めようという意識は、ほとんどの職員が持っているし、年々出来ていっている。後は、みんなが閲覧しやすいようにまとめていく事が出来れば利用者の理解が、これまで以上に進む。気づきノートの活用が出来るようにしていく。
・ 来年度の状況にもよるが、民生委員の方や、地域資源の活用には力を入れていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

・利用者の方の情報（生い立ち、趣味、嗜好）を聞き出そうとしている。本人に確認出来ない場合は、家族の方に情報収集したりしている。しかし、まとめて、記録を出来ていないので、もったいない状態である。
・本年度もコロナウイルスの感染の影響で、地域との関りは、ほぼ出来なかった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？		11人	8人		19人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？		12人	6人	1人	19人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？		4人	12人	3人	19人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？		1人	10人	8人	19人

できている点　200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・コロナ禍ではあったが、一階であるメリットを生かし、ガラス越しの面会、ソーシャルディスタンスを取った面会などを行った。
・家族や有料老人ホームの職員からの情報収集は行えている。
・家族が来所した際には、情報を提供しているし、来所が難しい場合は電話で状況を伝えるようにしている。
・本人の生活歴などは、レクリエーション中や入浴時などを使い、聞き出すようにしている。

できていない点　200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

・自宅の利用者の方の情報が不足しがち。家族の方との会話が、送迎時のみでは時間が足りず。場合によっては送迎時に家族の方が不在の時もある。
・独居の方の場合は、通いの時以外の生活状況が、まるで把握出来ない。
・有料老人ホームに入居の方と、ヘルパーで入った時などに会話をするが、時間が不足気味。
・運営推進会議が、中止になり、地域との関りは、ほぼ無かった。

次回までの具体的な改善計画　（200字以内）

・利用者の方の情報は、レクリエーション中や入浴時などでの収集は、上手くいっているので、本年度も継続していく。後は、その情報を、いかにして記録に残していくかが課題である。２．の項目でも記入した通り付箋を利用し、記入を促進していく。後に、その記入を整理していく形式で行うようにする。
・状況次第であるが、地域との関りは、可能な限り保つようにしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和３年１１月２０日（１７：００～１８：００）
５．　多機能性ある柔軟な支援	メンバー	中島・濱田・岡本・百合野・前島・道森・福島・木下・小倉

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	人	1人	18人	19人

前回の改善計画

・ 外部の環境が良くなっていれば、本年度行おうとしていた社協のボランティア等の呼び込みを行っていく。
・ 家族へのイベント等での協力も、外部の環境次第だが、要請して一緒に楽しんでもらうようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果

・本年度も、コロナの影響が大きく、家族の面会でさえ制限していた時期もあった。感染リスクを考えると、家族も含めた外部との接触は制限せざるを得ない。環境が変わらねば、状況は変えようがない。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？			5人	14人	19人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	1人	15人	1人	2人	19人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？		17人	2人		19人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？		15人	4人		19人

できている点　200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・地域資源として、訪問の散髪に来てもらった。
・ニーズに応じて、通い、訪問、泊りは、ほぼ希望通りに行えた。
・体調の変化に対応し、医療との連携は行っている。
・不穏、表情がさえない等の変化を感じた時には、外の空気を吸いに行ったり、散歩を行った。

できていない点　200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

・外部との関りは、全く出来ず。ボランティアの呼び込みも計画はあったが、実現出来ず。
・通いの回数が、職員の不足により、増やせない時があった。
・利用者の変化については、連絡帳、申し送りでは伝えていたが、ミーティングでの話合いは出来ていない。
・本人の意向があっても、身体状況、家族の意向で意に沿った支援が出来ない場合があった。

次回までの具体的な改善計画　（200字以内）

・来年度の環境がどうなっているかが分からないが、外出の機会は作るつもりであるし、ボランティアの方やなじみの訪問散髪、大きなイベントでの近所の方の呼び込みは行っていく。
・可能な限り利用者本人の意向に沿った介護を行っていく。だからといって、本人の希望、要求通りにすると健康に害が出そうな場合でも、本人のいいなりになる訳ではない。その辺りのバランスはとっていく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和３年１１月２０日（１７：００～１８：００）
６．　連携・協働	メンバー	中島・濱田・岡本・百合野・前島・道森・福島・木下・小倉

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	人	5人	14人	19人

前回の改善計画

・ 来年度には、コロナの影響も軽減されているだろうから、積極的に地域との連携は図っていく。
・ 本事業所で行う行事にも、地域の方を呼び込むようにしていく。前回の改善計画で挙げていた点はそのまま、次回の改善計画とする。

前回の改善計画に対する取組み結果

・本年度もコロナの状況は軽減されたとはいえない状況であった。地域との連携は難しかった。
・新規登録者の情報を収集する為に、医療機関との連携は、コロナ禍ではあったが、可能な限り行った。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？		5人	4人	10人	19人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？			3人	16人	19人
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？		1人	4人	14人	19人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？			2人	17人	19人

できている点　200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・グループ内の医療機関、医療リハ、訪問看護などとの連携は出来ている。
・福祉用具の業者の方とは、担当者会議等を開催し、日々の連携も取れている。
・コロナ制限の緩和中は、利用者の方の知り合いの方の訪問はあった。

できていない点　200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

・運営推進会議でさえ、ほとんど開催出来なかった。
・季節行事は、事業所の中だけで行った。
・外出、ボランティアの呼び込みなどは、全く出来ていない。

次回までの具体的な改善計画　（200字以内）

・コロナウイルスの感染状況次第であるが、地域の行事には参加していく。
・グループ内の医療機関や他の事業所との連携は制限されることはないだろうから、連携を強化していく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和３年１１月２０日（１７：００～１８：００）
７．　運営	メンバー	中島・濱田・岡本・百合野・前島・道森・福島・木下・小倉

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	2人	14人	3人	19人

前回の改善計画
・ 職員は、様々な場面で意見を出してくれている。それを、うまくまとめた上で、改めてミーティングの議題にし、話し合いを行って、全職員に周知させていく。 ・ 本年度実施出来なかった公園掃除には、状況次第では、行っていく。実際にきちんと掃除出来るかどうかはともかく外出の機会ととらえて、気候のいい時期に行うようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果
・休憩中やちょっとした空き時間に、いろいろな意見は出ている。しかし、まとめた上でミーティングの議題には出来ていない。ミーティング等の、大人数の公の場では、意見が出にくくなる。 ・今年の状況では、利用者の方を外に連れ出す事が難しかった。今後の状況次第であるが、来年度は行いたい。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？		9人	7人	3人	19人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	1人	13人	3人	2人	19人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？		5人	6人	8人	19人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？			3人	16人	19人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・地域、家族、本人からの苦情や相談には、ある程度対応出来ていた。 ・休憩中などの時間を使って、意見交換は出来ている。 ・ミーティング時に意見は出ている。 ・必要な時には、個人的に運営についての意見を伝える事も出来ていた。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域との協働は出来ない状況であった。 ・公園掃除等も行いたかったが、コロナの為出来なかった。 ・家族や本人からの苦情の対応が、完全に出来たとはいえない。時間が経過すると元に戻ってしまう場合もあった。 ・休憩中の意見交換は良く行われているが、勤務時間の関係で、その場にいる事が少ない職員もいる。 ・ミーティング時に、意見をよく言う職員と、言えない職員の差がある。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
・各職員は、意見は持っているし、発言していない訳ではない。公の会議等の場では、意見が出にくいし、意見を出す職員の顔ぶれも決まっている。私的な場での意見交換を、その場だけでは終わらずに、職場全体の意見交換にしていく。出ている意見を、ミーティング時に議題にし、話し合っていく。 ・洗濯物の入れ間違いが、少なくない件数発生している。衣類やタオル類に記名がされていないものも多く、間違いの要因となっている。無記名なものに記名を進め、取り込み時のミスや、収納間違いなどを無くしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和３年１１月２０日（１７：００～１８：００）
８．　質を向上するための取組み	メンバー	中島・濱田・岡本・百合野・前島・道森・福島・木下・小倉

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	15人	3人	1人	19人

前回の改善計画

・ ヒヤリハットの更なる活用を図る。ちょっとしたことでも、積極的に記入してもらい、他の職員への注意喚起を促し、事故を未然に防止するようにしていく。
・ 職場内の勉強会は、本年度と同じく、各職員に順番に受け持ってもらうことにする。担当職員自身の勉強にもなっており、継続していく。

前回の改善計画に対する取組み結果

・ヒヤリハットの記入は、積極的になっていっている。閲覧もしっかりとされており、事故の可能性の注意喚起になっている。しかし、転倒などの事故は発生しているし、件数も少なくない。
・職場内の勉強会は、講師役を順番に受け持ってもらう事を継続していっている。いい結果が出ているので、今後も継続していく。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	2人	12人	2人	3人	19人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1人	5人	4人	9人	19人
③	地域連絡会に参加していますか			1人	18人	19人
④	リスクマネジメントに取組んでいますか		14人	2人	3人	19人

できている点　200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・職場内の勉強会は行っている。講師役も順番に行い、成果が上がっている。
・ヒヤリハット、事故報告書は記入され、全職員が確認している。
・全員ではないが、外部研修にも参加している。
・リスクマネジメントは、勉強会の項目に一年に一回はなっている。
・リスク回避の為、一つ一つの動作を説明、理解してもらい、同意してもらった後に行っている

できていない点　200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

・外部研修の参加率が低い。
・同じような失敗、事故（誤薬、服薬忘れ）がある。
・リスク回避の為、申し送りを行っているが、ニュアンスが違って伝わる場合がある。
・ヒヤリハット、事故報告書の記入はあるが、話合いは行えていない。

次回までの具体的な改善計画　（200字以内）

・転倒事故も発生したし、誤薬の件数も５件と多かった。転倒に関しては、不可効力の件もあったが、誤薬に関しては、職員が注意していれば起きていないものばかりである。大事に至っていないのが幸いで、次年度は誤薬に関しては、発生させないように、ミーティング時などに注意喚起をしていく。
・外部研修の参加率が低いので、研修案内のファイルを目に入りやすい所に置き、管理者側からも、近隣で行われるものは、促すようにしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和３年１１月２６日（18：００～１８：３０）
９．　人権・プライバシー	メンバー	中島・濱田・畑村・岡本・国徳・百合野・道森・前島・福島・次藤・藤田・井町

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	12人	4人	3人	19人

前回の改善計画

・ 接遇やコンプライアンスの勉強会は、繰り返し行い、レベルを上げていく。
・ 安全確保とプライバシー保護は、相反する要素であるので、どちらかに比重を置くともう片方が難しくなる。バランスを取りながら行っていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

・勉強会は行っているが、レベルが確実に上がったとまではいえない。今後も継続していく。
・どうしてもプライバシー保護よりも安全確保を重視してしまう。ある程度は、仕方のないことではある。過剰に安全重視にならないように気を付ける。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	8人	11人			19人
②	虐待は行われていない	17人	2人			19人
③	プライバシーが守られている	1人	15人	4人		20人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1人	13人	3人	2人	19人
⑤	適正な個人情報の管理ができている	1人	17人	1人		19人

できている点　200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・身体拘束は行われていない。
・虐待も行われてはいない。
・必要性がある時以外は、プライバシーを守っている。
・現在はいないが、以前は、必要な方に成年後見制度を活用していた。
・個人情報が記載されている書類の処分にはシュレッターを使用している。

できていない点　200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

・トイレが込み合っている時、他の利用者の方の対応をしている時など、トイレ要望を待たせることもある。
・職員の数の問題で、同時に要望を受けても順番に行うしかない。待たせるという事はどうしても発生してしまう。
・歩行が困難なのに、立ち上がりの可能性がある方は、居室やトイレで頻回に様子を見に行く事がある。プライバシーよりも安全を優先してしまう場合がある。
・個人情報はファイルに綴じてるが、常に手の届かない所に置いている訳ではない。

次回までの具体的な改善計画　（200字以内）

・虐待の芽は、しっかりと摘んでおく。利用者の方に対しては、○○ちゃん（親しみを込めてということもあるが）とは呼びかけず、必ず○○さんと呼ぶようにしていく。職員間も、公の場では、○○さんと呼び合うようにする。
・歩行困難なのに、立ち上がりの危険性の高い利用者の方であっても、出来るだけプライバシーは守るようにしていく。